

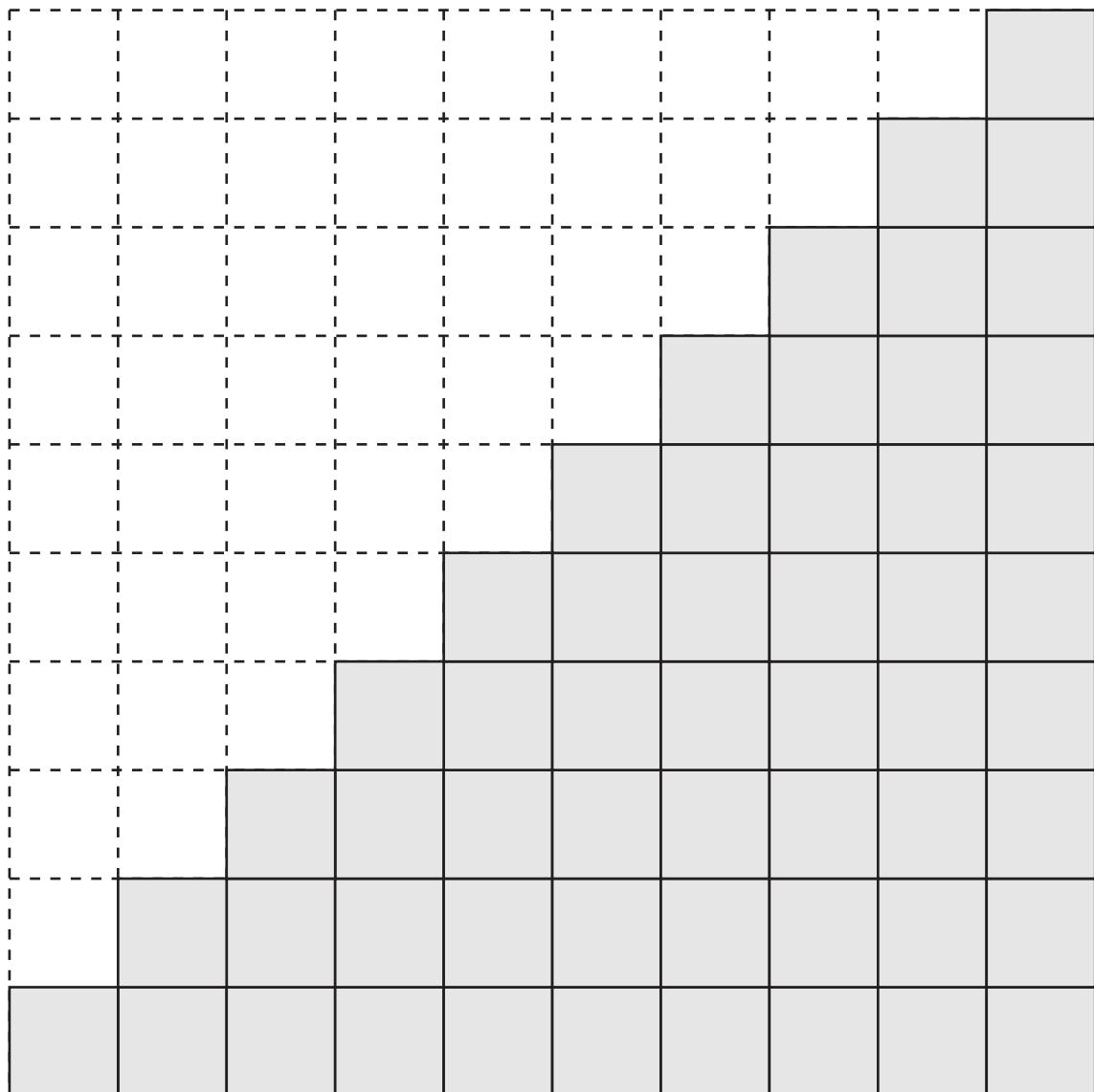
Fight !



口コモ 2 - 1

なまえ

をぜんぶたすと、いくつになるかな。



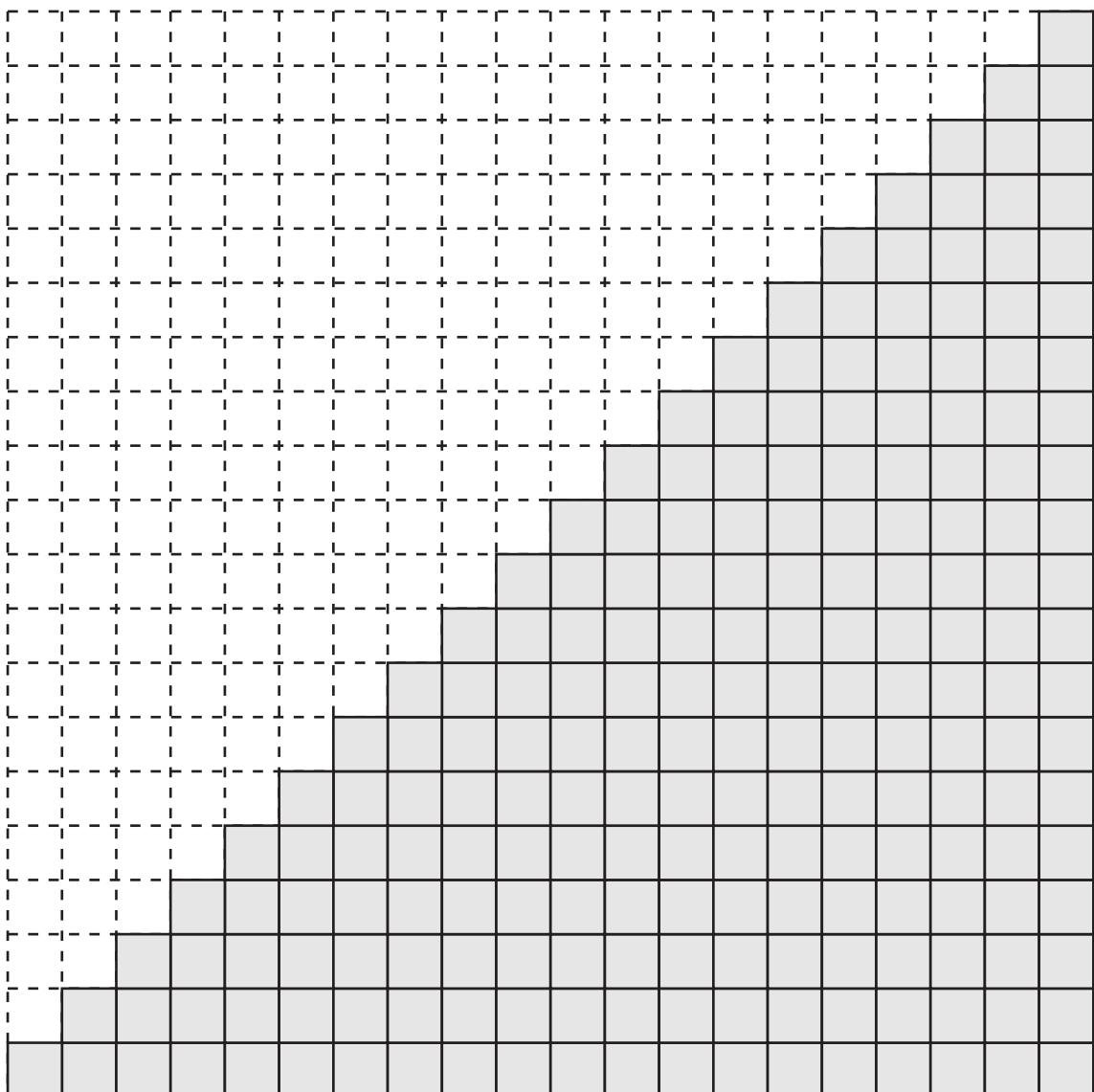
$$1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8 + 9 + 10$$

=

口コモ 2 - 2

なまえ

をぜんぶたと、いくつになるかな。



$$1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8 + 9 + 10 + 11 + 12 + 13 + 14 + 15 + 16 + 17 + 18 + 19 + 20$$

$$= \boxed{\quad}$$

口コモ 2 - 3

なまえ

線でむすびましょう。

もぬけの

かぜ
風



やなぎ
柳に

ちようちん
提灯



や
焼け石に

やつ
矢尽く



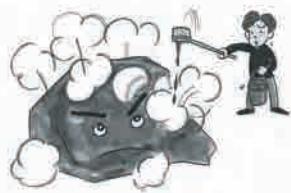
ゆみ
弓折れ

から
殻



つき
月夜に

みず
水



口コモ 2 - 4

なまえ

せん
線でむすびましょう。

や 焼け石に いし

や 矢尽く つ



つき よ 月夜に

から殻



やなぎ 柳に

みず 水



もぬけの

かぜ 風



ゆみ お 弓折れ

ちょうちん 提灯



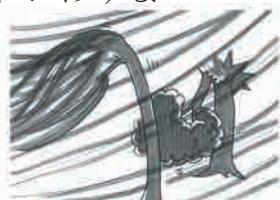
口コモ 2 - 5

なまえ

筋筋でもすびましょう。

もぬけの殻から

うまくかわすよ



柳やなぎに風かぜ

で出て行ったあとだ



焼やけ石いしに水みず

ひつよう
必要ないね



弓ゆみ折おれ矢や尽つく

どうすることもできないよ



月つき夜よに提ちょう灯ちん

これじゃ効きき目めがないね



口コモ 2 - 6

なまえ

せん
線でむすびましょう。

つき よ ちょうちん
月夜に提灯

ちからつ
力尽きてどうすることも
できないこと



から
もぬけの殻

ねどこ いえ ひと に さ
寝床や家から人が逃げ去つ
てしまつた後の様子



やなぎ かぜ
柳に風

すこ えん じょ どりょく
少しの援助や努力ではまつ
たく効き目がないこと



ゆみ お や つ
弓折れ矢尽く

あか つき よ ちょうちん
明るい月夜に提灯をともす
ように不需要で無駄なこと



や いし みず
焼け石に水

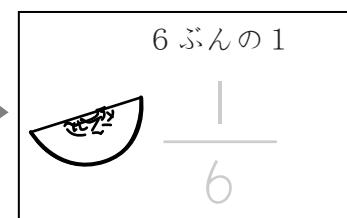
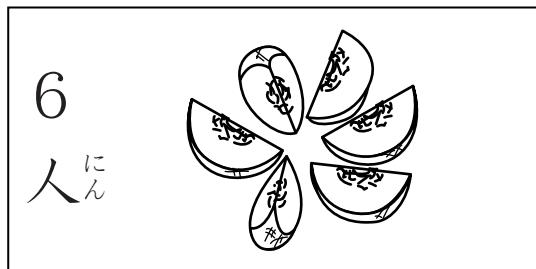
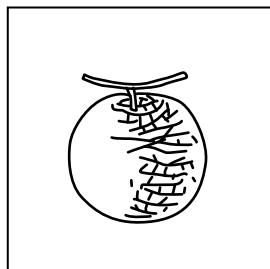
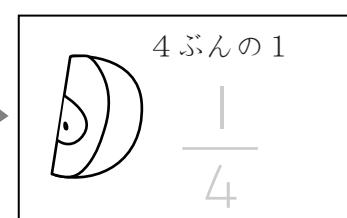
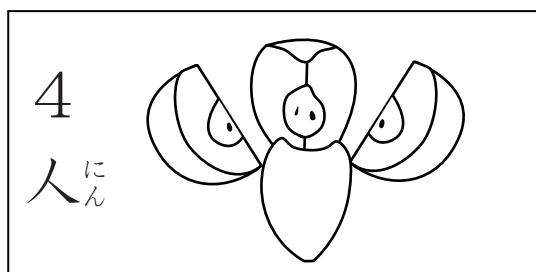
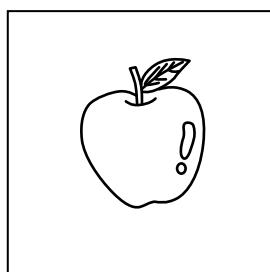
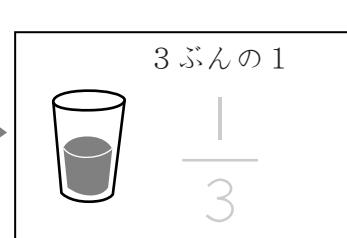
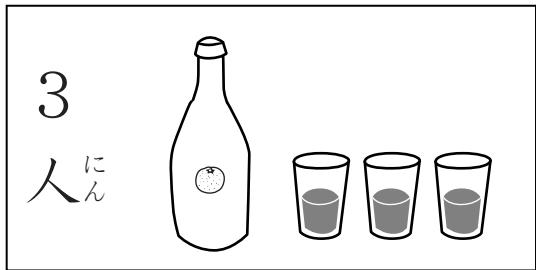
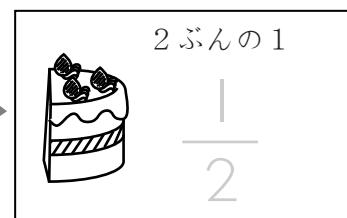
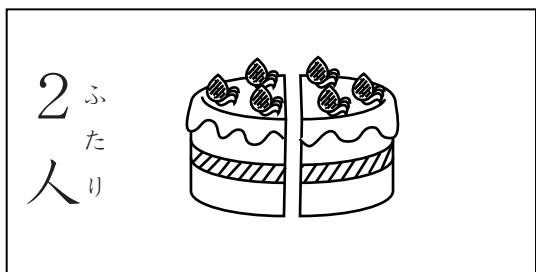
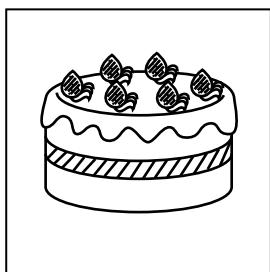
あいてことばう
相手の言葉をたくさん受け
流すこと



口コモ 2 - 7

なまえ

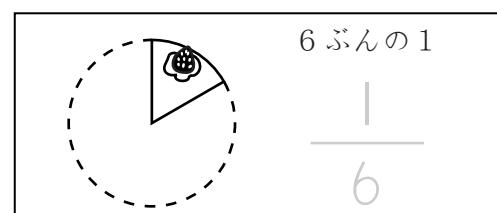
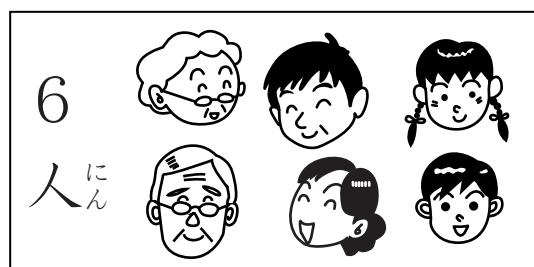
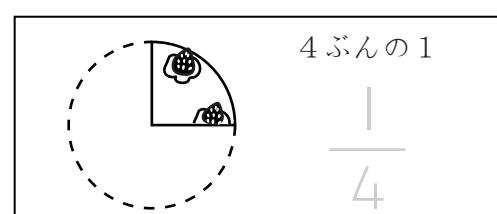
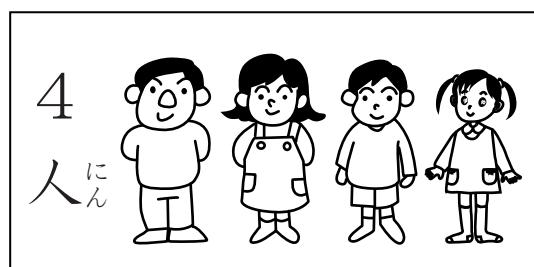
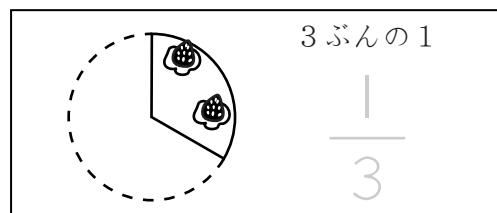
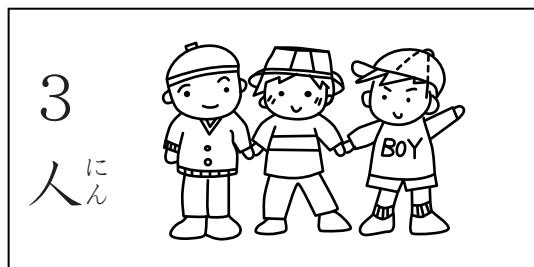
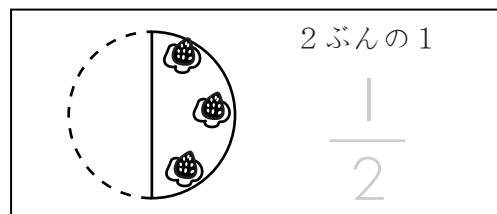
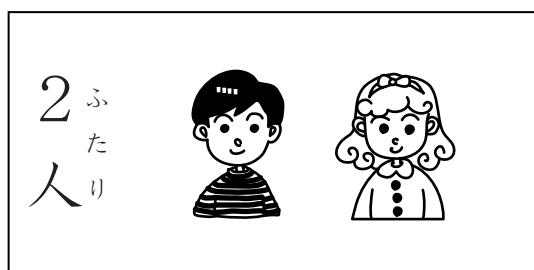
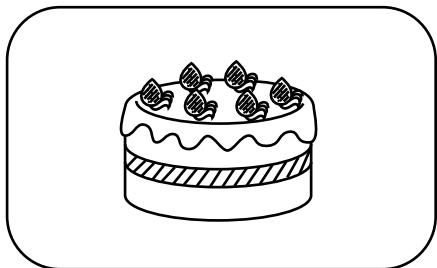
みんなでわけると、どのくらいの量になるかな。



口コモ 2 - 8

なまえ

ケーキをみんなでわけると、ひとりどのくらいの量になるかな。



口コモ 2 - 9

なまえ

線でもすびましょう。

ゆき お
雪折れも

ゆき 雪がふうわり
ふわりかな



うまそくな

き 聞こえてくらき
よ 夜なるかな



木がらしや

め 刺にのこる
うみ 海のいろ



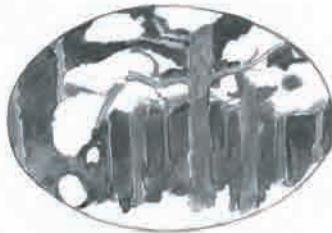
口コモ 2 - 10

なまえ

せん
線でむすびましょう。

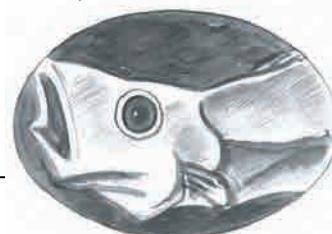
木がらしや

き
聞こえてくらき
よ
夜なるかな



うまそうな

めざし
目刺にのこる
うみ
海のいろ



ゆき
雪折れも

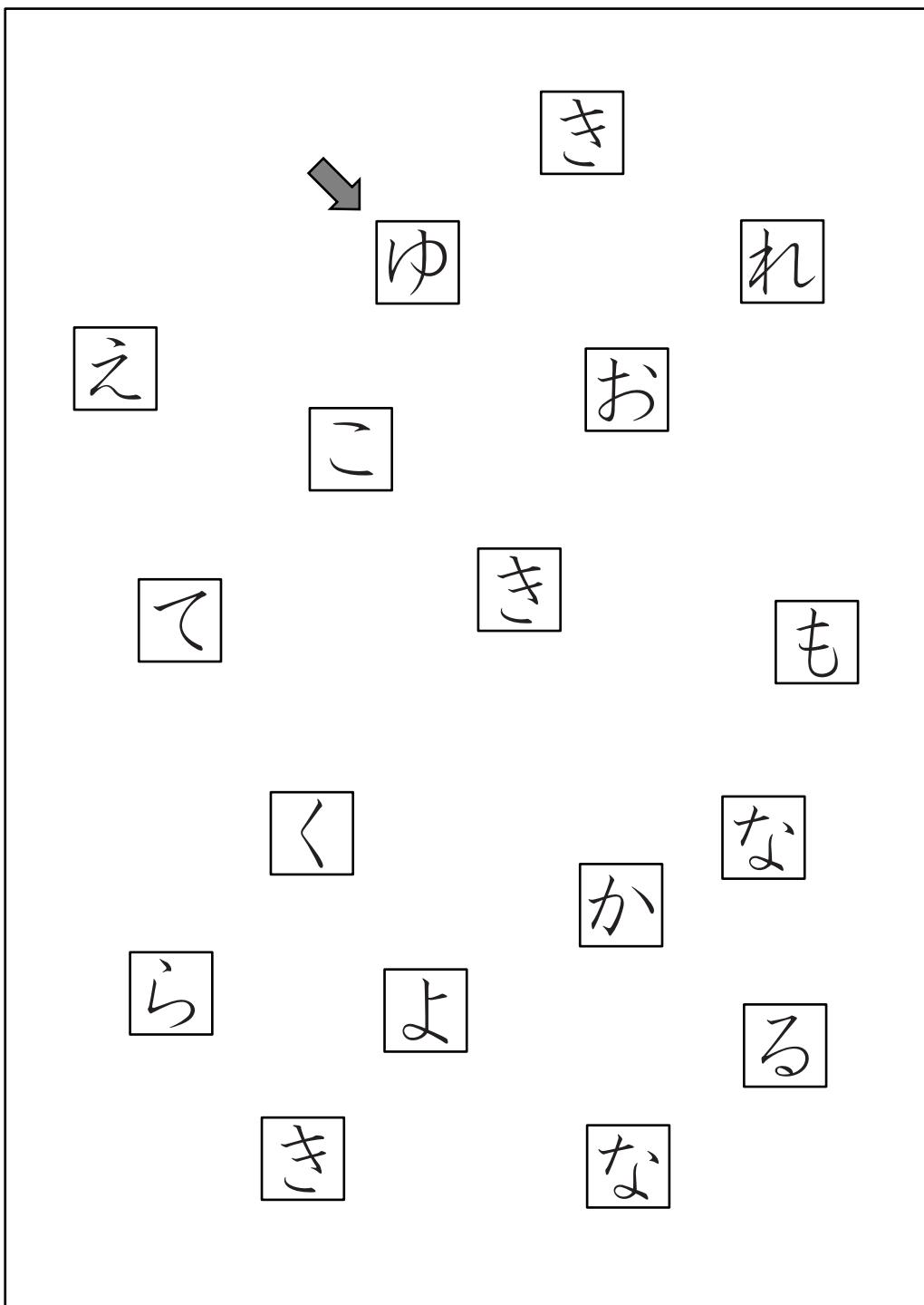
ゆき
雪がふうわり
ふわりかな



口コモ 2 - 11

なまえ

線でもすびましょう。



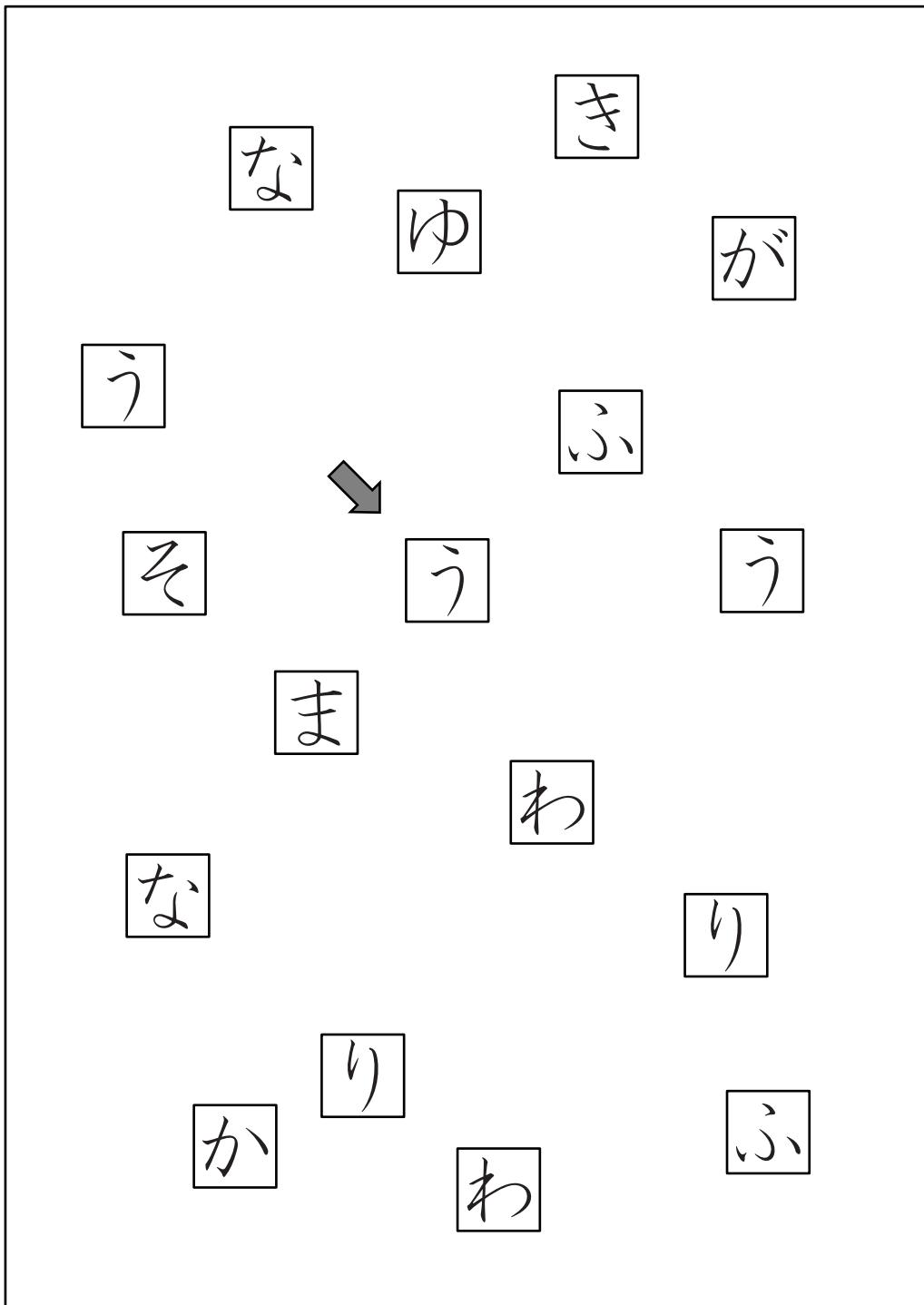
ゆきおれもきこえてくらき・・・・・

口コモ 2 - 12

なまえ

せん
線でむすびましょう。

うまそうな・・・・



口コモ 2 - 13

なまえ

線でもすびましょう。

こがらしや・・・・



に

の

し

こ

こ

が

ぎ

る

め

し

る

や

ら

う

ろ

い

み

の



口コモ 2 - 14

なまえ

□の中に文字を入れ、俳句をつくりましょう。

与謝蕪村
よ
さ
ぶ
そん

ゆ
き
おれも
え
て
なる
らき
な

口コモ 2 - 15

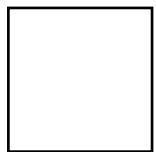
なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

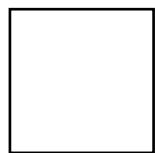
小林一茶
こりやまいっさ

まそくな

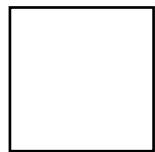
ゆき



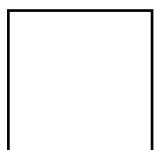
ふうわ



わ



かな



口コモ 2 - 16

なまえ

□の中に文字を入れ、俳句をつくりましょう。

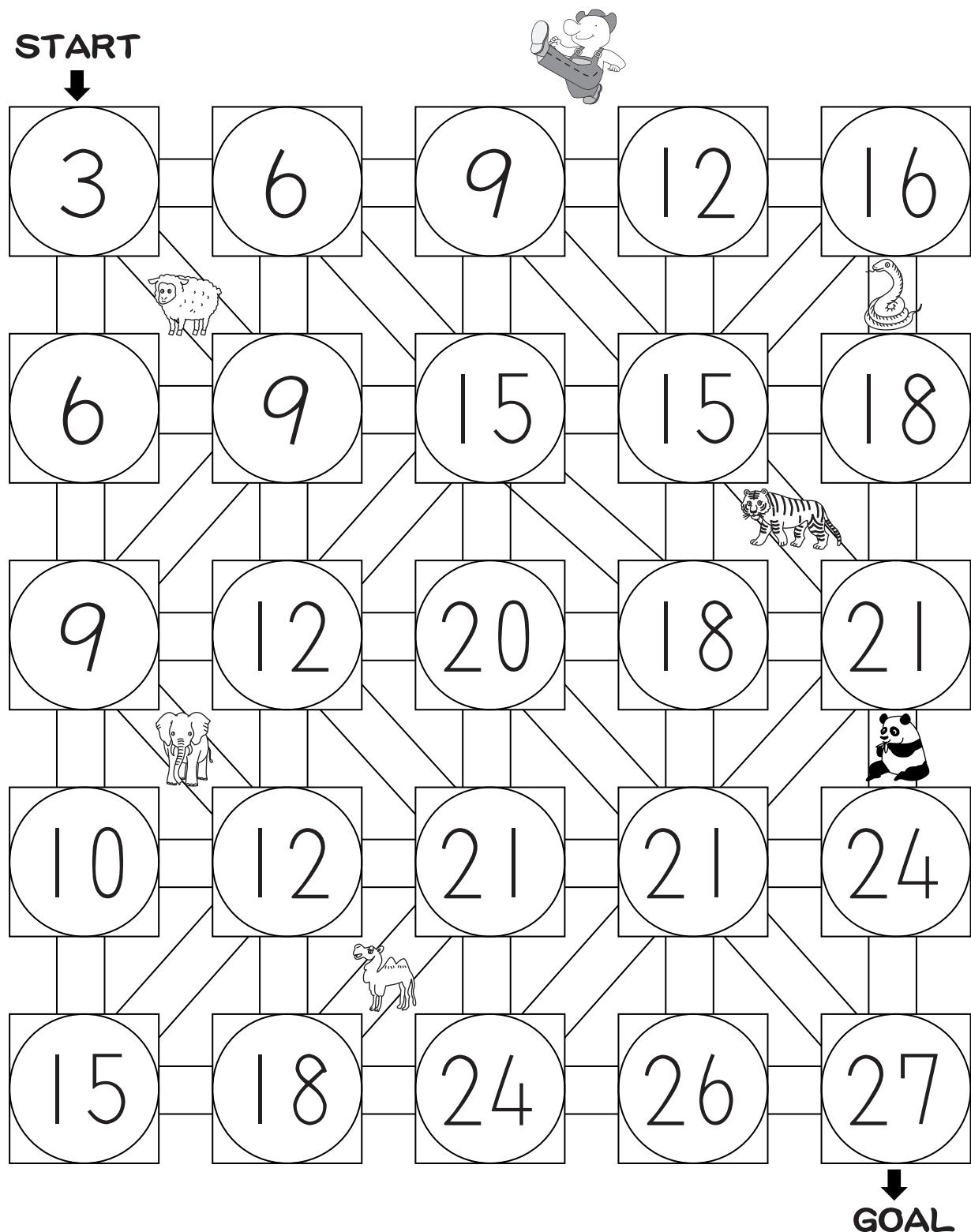
芥川龍之介
あくたがわりゆうのすけ

こ
め
らし
しに
うみの
こる
ろ

口コモ 2 - 17

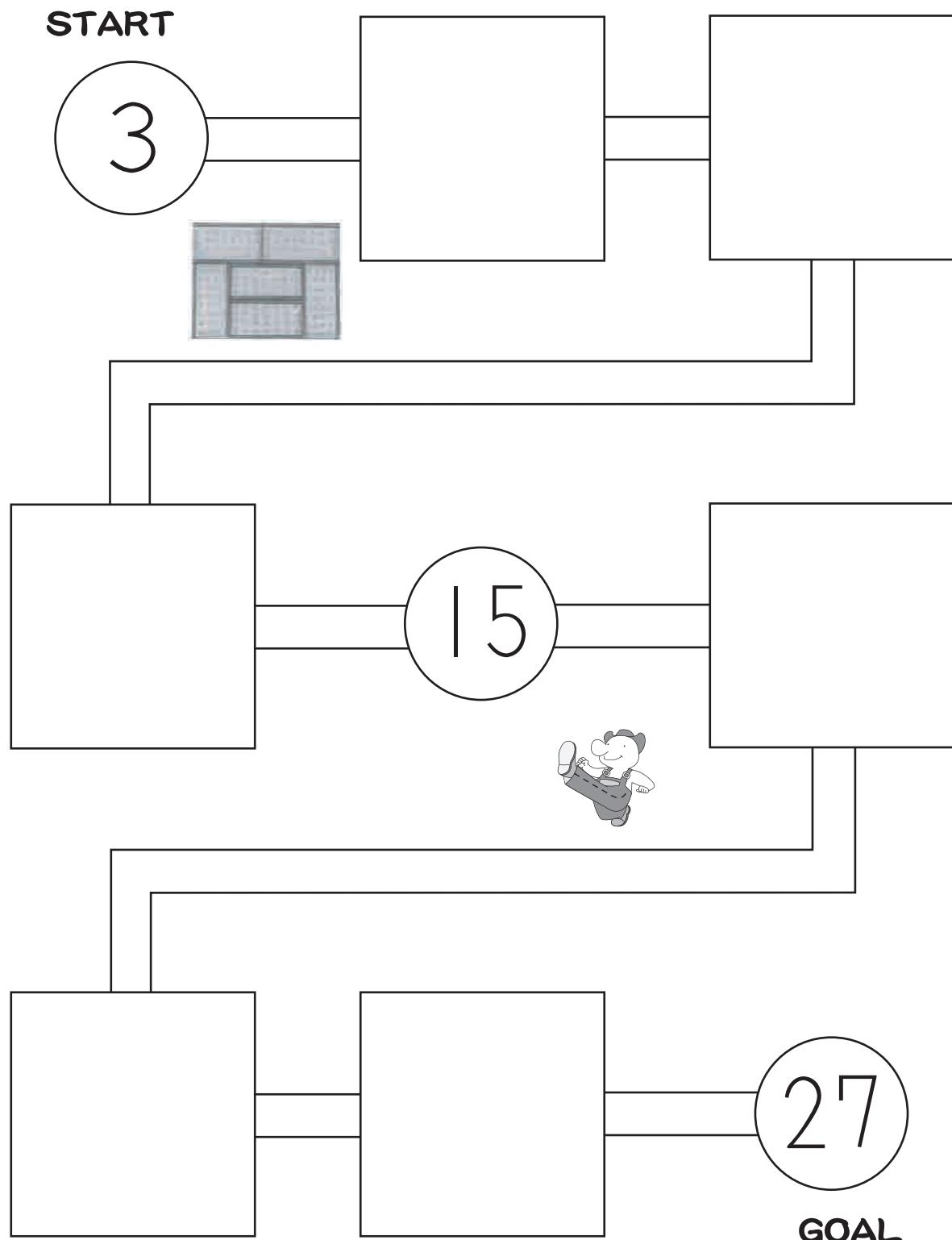
なまえ

3とびで、GOALまでいきましょう。



なまえ

あいている□の中に3とびで数字をかきましょう。



口コモ 2 - 19

なまえ

せん
線でもすびましょう。

むし
虫



くち
口



ちゃ
お茶



口コモ 2 - 20

なまえ

ません
線でむすびましょう。

むし
虫がいい

みんな
おなじ
同じです



ちゃ
にご
お茶を濁す

かって
勝手だなあ



くち
あ
口を合わせる

まあこんなところかな



口コモ 2-21

なまえ

せん
線でもすびましょう。

くち あ
口を合わせる

いいかげんなその場し
のぎでごまかす



ちゃ にご
お茶を濁す

なんにん
何人かで言うことを
いつち
一致させる



むし
虫がいい

じぶん つごう
自分に都合の良いよう
にばかり考える



なまえ

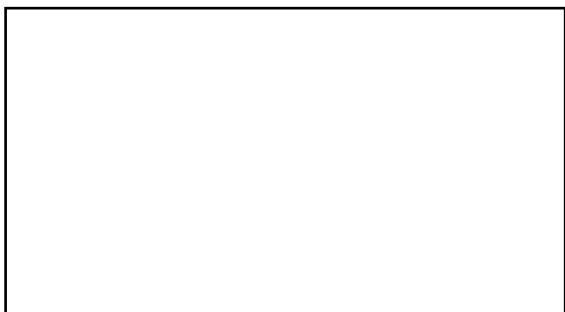
下から選んで慣用句をつくりましょう。



にご
を濁す



がいい

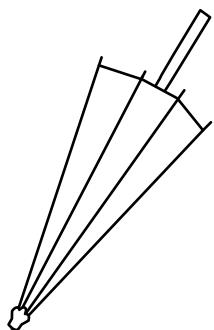


あ
を合わせる

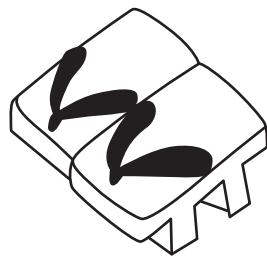
くち おちや むし

なまえ

知らない町まで飛ばされたごんべえは、何を
うみせはたら
売るお店で働きましたか。



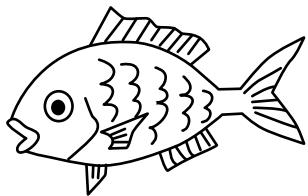
かさ



げた



ぼうし



さかな

なまえ

いけ 池からあがったごんべえは、着物きものの中なかから
100匹びきのどじょうが出てきて、どう思おもいましたか。



- 1 こんど 今度はきっと鴨かもを100羽わつかまえるぞ。
- 2 こんど 今度からはどじょうをつかまえよう。
- 3 もう狩かりはこりごりだ。

口コモ 2 - 25

なまえ

せん
線でもすびましょう。



つきみ
月見れば
千々に物こそ 悲しけれ



ひとめくさも
人目も草も
かれぬと思へば



あきた
秋の田の
かりほの庵の 苦をあらみ



ころもで
わが衣手は
露にぬれつつ



やまさと
山里は
冬ぞ寂しさ まさりける



お
なほあまりある
むかし 昔なりけり



ももしや
古き軒端の しのぶにも



みひと
わが身一つの
秋にはあらねど



口コモ 2 - 26

なまえ

せん
線でむすびましょう。

あき た
秋の田の
かりほの庵の 苦をあらみ

み ひと
わが身一つの
あき 秋にはあらねど

ももしや
ふる のき ば
古き軒端の しのぶにも

ひと め くさ
人目も草も
おも え
かれぬと思へば

つき み
月見れば
ち ち もの かな
千々に物こそ 悲しけれ

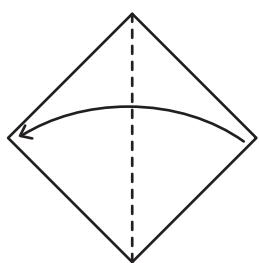
ころもで
わが衣手は
つゆ 露にぬれつつ

やまさと
山里は
ふゆ さび
冬ぞ寂しさ まさりける

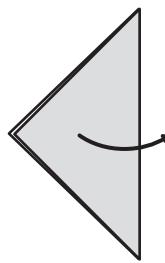
お
なほあまりある
むかし
昔なりけり

なまえ

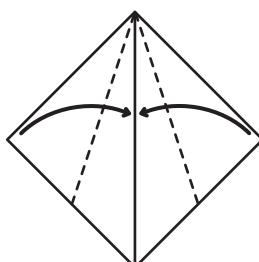
《ロケット》



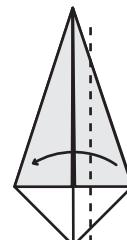
1 さんかくに おる



2 もとの かたちに ひらく



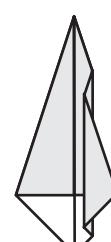
3 まんなかの せんのぶぶん
に あわせて おる



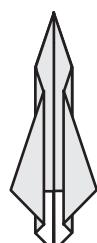
4 まんなかの せんよりも
ずらして たにおりする



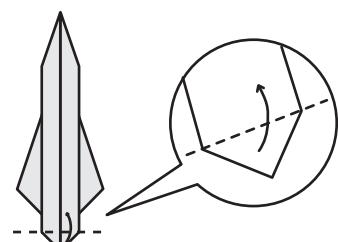
5 おりせんより ずらして
そとがわに おりかえす



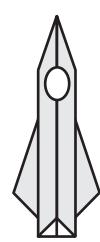
6 はんたいがわも 4と5と
おなじように おる



7 うらがえす



8 したを さんかくに おる



9 まどを かいて ロケットの
かんせい

